

園児たちに、食の大切さを

食育交流会

6月9日、大川コミセンで若津幼稚園年長組の園児30人と健康を守る婦人の会大川校区のみなさんが食育交流会を行いました。

園児たちは、この日のために自分たちで収穫したじゃがいもを食材に、同会員のみなさんから包丁の使い方や調理の仕方などを教えてもらって、いっしょにアイス風ポテトサラダを作りました。

園児たちは、でき立てのポテトサラダを目の前に待ちきれなくて味見をしたり、会員とおしゃべりを楽しんだりして、おいしくいただき、最後に「家でも作りたい」とみんなで声を出していました。



上手に野菜を切る園児たち

雨にも負けず!力を発揮

大川カップサッカー大会

6月11日・12日、筑後川総合運動公園で大川カップサッカー大会が開催されました。

大会には、市内から4チーム、鹿児島県、大分県、長崎県と県内の中学生サッカーチームを合わせた16チームが参加。雨の中、白熱した試合を繰り広げました。

大会期間中は、天候に恵まれず、雨でぬかるんだグラウンドに足を取られ、思うようなプレーができない状況でも、選手たちは、泥まみれになりながら攻守に頑張っていました。

優勝は、城島中サッカーチーム(久留米市)でした。



雨の降る中、プレーに集中する選手たち

コカリナの音色でつむぐ

「復活の笛コカリナ」コンサート

6月17日、市文化センターで東日本大震災被災地支援チャリティー「復活の笛コカリナ」コンサートが開催されました。

このチャリティーコンサートは、2004年の中越地震被災地支援を基に始まり、今回の東日本大震災では、日本全国で年間百回の開催を目指して行われています。

コカリナは木製の筒状の笛でハンガリーの民族楽器です。長野冬季オリンピックでは道路建設で伐採された木で、また広島原爆の被爆樹で製作されるなど、その演奏は注目されています。

当日のコンサートには、多くの入場者がコカリナの音色に癒されていました。



コカリナとオートハープの演奏



上段:岐阜県知事賞を受賞した(有)堤建具製作所(左)と湊屋の作品
下段:入賞を報告した建具事業協同組合のみなさん

翌年の福岡大会を目指して

全国建具展示会表彰

6月22日、大川建具事業協同組合のみなさんが植木市長を訪ね、6月17～19日に飛騨・世界生活文化センター(岐阜県)で行われた第45回全国建具展示会での入賞を報告しました。

同組合からは、6社が出展し、4社の作品が入賞する素晴らしい成績を挙げました。

武下茂満理事長は、「翌年は福岡大会。次の大会を大川の大会として位置づけ、上位の入賞を目指して頑張りたい」と意気込みを語りました。

植木市長は、「来年の福岡大会に向けて頑張ってもらいたい」と激励しました。

芝生の校庭で運動会を

学校運動場芝生化事業

6月12日、田口小学校運動場に芝生の植付けが行われました。

この芝生の植付けは、児童・生徒が遊びたくなる運動場づくりや夏場の温度上昇を抑えるなど環境負荷の低減を目的に実施されています。

当日は、雨が降っているにも関わらず、全校児童、約三百三十七人とその保護者、地域住民、教職員など合わせて七百人ほどが参加し、二万六千株の芝苗を丁寧に植えました。

同校は、10月に運動会を予定していて、芝生が生えそろうた運動場で運動会ができることを、楽しみにしています。



雨の降る中、協力して芝苗を植える児童たち